



石海小学校だより

校訓 「あかるく なかよく かいっぱい」

太子町立石海小学校
NO.4 令和4年7月15日
発行者：校長 久保田 昌之

笑顔きらきらの夏休みに

観測史上最も早い梅雨明けとなりました。連日30℃を超える猛暑となっていますが、子どもたちは日焼けした顔で、元気にがんばっています。1学期も残りわずかとなりましたが、感染症対策と熱中症対策をとりながら、1学期のまとめをしています。



暑さに負けず「遊具検定」に挑戦する子どもたち

さて、間もなく42日間の長い夏休みを迎えます。子どもたちにとって楽しく安全に充実した夏休みにするために、「チャレンジして成長し、笑顔きらきらの夏」となるよう、保護者や地域の皆様のご支援・ご協力をよろしく願います。

国際理解教育を深めるために

1学期末に日本に一時帰国する児童の体験入学を受け入れました。モンゴルから1名、オーストラリアから2名でした。交流クラスでは、早くから歓迎会の準備をして楽しみに待っていました。交流する中で、日本文化を紹介するとともに、お互いの国の文化の違いに気づき、国際理解を深めました。また、多様な文化の人々と共生の心を育むことができました。

石海小学校創立147年

石海小学校は、明治8年(1875年)7月1日創立以来、色々な変遷を重ねながら147年目を迎えました。

『石海小学校百年史』によると、創立当時の校舎は、木造2階建て、1階4教室、2階4教室でした。運動場が狭いため、運動会は常全の河原で行っていたそうです。



大正時代の石海小学校

石海小学校の発展のために尽力されてきた数多くの皆様に敬意を表するとともに、伝統ある輝かしい校風を受け継いでいけるよう、教職員一同力を尽くしていきます。

七夕わくわく集会

7月7日(木)に、運営委員会が企画した「七夕わくわく集会」を行いました。感染症と熱中症予防のため、全校で一堂に集まらず、各教室でタブレットのGoogle Meetを使ってオンラインで実施しました。



「七夕クイズ」や「クラスの願いごと発表」をするたびに、各クラスから歓声があがっていました。また、集会を盛り上げるために、事前に各クラスで教室に七夕飾りや一人一人の願い事を短冊に書いて飾りました。教室は離れていても、「石海っ子」の心はひとつになっているなど感じました。

幼稚園との交流

5年生は、総合的な学習の時間、「石海『小』と交流し『幼』」をテーマに、ゲーム、お絵かき、小学校生活の劇等を通して交流を深めました。これまで、コロナ禍のため直接交流ができていなかったため、3年ぶりにとてもすばらしいふれあいの機会となりました。



命を守る着衣水泳

暑くなると、悲しい水の事故のニュースが増えてきます。石海小学校では、発達段階に応じて着衣水泳を指導しています。川や海で流された時には、あせって泳がずに「浮いて助けを待つ」ことが大切です。



***** 教室の窓 *****

1年生と2年生の書写の授業をしています。入学したてのころは、話を聞かせるのにもひと苦労だった1年生が、授業に行くたびに賢くなってきています。いろいろなルールを身に付けて、チャイムの合図守り、授業の準備をして静かに待ち、元気いっぱい発表したり、文字を丁寧に書いたりしています。本当にすごい成長です。

石海小学校の子どもたちは、教わるとどんどん吸収して、実践する力があります。10年たって世代は変わっていますが、いい気質が受け継がれているのがとてもうれしいです。

〈文責：教頭 長谷川 大輔〉